

様式第28号（第2条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

医療法人事業報告書等届

令和 5 年 6 月 20 日

静岡県知事 川勝 平太 様

医療法人の名称 医療法人社団 泉会

主たる事務所の所在地 静岡県富士市伝法177

代表者の氏名 理事長 竜崎 崇和

令和 4 年度

18 期

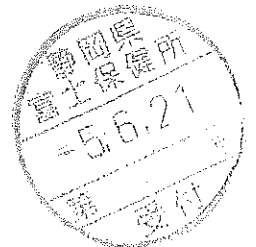
の決算を終了したので、医療法第52条第1項の規定により届け出ます。

提出書類

- (1) 事業報告書
- (2) 財産目録
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書
- (5) 監事の監査報告書

(注)

- 1 医療法施行規則第32条の6第1号に掲げる者と同条第2号に掲げる取引がある場合は、関係事業者との取引の状況に関する報告書を添付すること。
- 2 社会医療法人の場合は、医療法第42条の2第1項第1号から第6号までの要件に該当する旨を説明する書類を添付すること。
- 3 医療法施行規則第33条の2第1号及び第2号に規定する法人の場合は、次の書類を添付すること。
 - (1) 純資産変動計算書
 - (2) 附属明細表
 - (3) 公認会計士又は監査法人の監査報告書
- 4 医療法施行規則第33条の2第3号に規定する法人の場合は、次の書類を添付すること。
 - (1) 純資産変動計算書
 - (2) キャッシュ・フロー計算書
 - (3) 附属明細表
 - (4) 公認会計士又は監査法人の監査報告書
- 5 社会医療法人債発行法人であつて社会医療法人でない医療法人は、その他必要な書類を添付すること。
- 6 貸借対照表及び損益計算書は、病院、診療所又は介護老人保健施設別のものを提出する必要はなく、法人全体のものを提出すれば足りること。



様式 1

事業報告書

(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人社団泉会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の口を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 静岡県富士市伝法 177 番地の 1

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 19 年 3 月 23 日

(4) 設立登記年月日 平成 19 年 3 月 23 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	東名富士クリニック	静岡県富士市伝法 1 7 7 番地の 1	0 床
診療所	天間クリニック	静岡県富士市天間 6 9 番地の 1	0 床
診療所	富士宮東名富士 クリニック	静岡県富士宮市万野原新田 3117 番 地の 1	0 床

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和4年5月28日	令和3年度事業報告および計算書類等承認の件
令和4年8月30日	役員選任の件
令和4年10月27日	天間クリニック廃止の件
〃	定款の一部変更の件
〃	事業計画及び予算の定款設定の件
令和4年10月28日	管理者交代の件
令和5年1月30日	役員辞任の件
〃	役員就任の件
令和5年3月28日	令和5年度収支予算案承認の件

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

(7) その他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

様式 2

法人名 医療法人社団泉会

※医療法人整理番号

所在地 静岡県富士市伝法177番地の1

財産目録
(令和5年3月31日現在)

1. 資	産	額	2,730,767 千円	
2. 負	債	額	2,529,580 千円	
3. 純	資	産	額	201,187 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	1,366,075
B 固 定 資 産	1,364,692
C 資 産 合 計 (A+B)	2,730,767
D 負 債 合 計	2,529,580
E 純 資 産 (C-D)	201,187

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。			
土	地	(□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))	
建	物	(■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))	

様式 3-2

法人名 医療法人社団泉会

※医療法人整理番号

所在地 静岡県富士市伝法177番地の1

貸借対照表
(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	1,366,075	I 流 動 負 債	317,673
II 固 定 資 産	1,364,692	II 固 定 負 債	2,211,907
1 有 形 固 定 資 産	1,199,978	(うち医療機関債)	0
2 無 形 固 定 資 産	19,050	負 債 合 計	2,529,580
3 そ の 他 の 資 産	145,664	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)	0	科 目	金 額
		I 資 本 金	8,000
		II 利 益 余 剰 金	193,187
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
		純 資 産 合 計	201,187
資 産 合 計	2,730,767	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,730,767

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 2

法人名 医療法人社団泉会
所在地 静岡県富士市伝法 1 7 7 番地の 1

※医療法人整理番号

損益計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	3,500,150
2 事業費用	2,848,583
本来業務事業利益	651,567
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業利益	651,567
II 事業外収益	6,539
III 事業外費用	17,622
経常利益	640,484
IV 特別利益	0
V 特別損失	0
税引前当期純利益	640,484
法人税等	160,638
当期純利益	479,846

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式5

法人名 医療法人社団泉会

※医療法人整理番号

--	--	--	--

所在地 静岡県富士市伝法177番地の1

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種 類	該当なし
名 称	
所 在 地	
総資産額（千円）	
事業の内容	
関係事業者との関係	
取引の内容	
取引金額（千円）	
科 目	
期末残高（千円）	

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種 類	該当なし
氏 名	
職 業	
関係事業者との関係	
取引の内容	
取引金額（千円）	
科 目	
期末残高（千円）	

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団泉会

理事長 竜崎 崇和 殿

私は、医療法人社団泉会の令和4会計年度（令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和5年5月29日

医療法人社団泉会

監事 小山 武仁